

令和4年度事業報告

広陵町社会福祉協議会（社協）では、令和4年度の基本方針に基づき、各方面における福祉事業等を実施いたしました。経理区分ごとにご報告いたします。

【社会福祉事業】

I 総合保健福祉会館拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分

理事会・評議員会の開催ほか、広陵町社会福祉協議会の円滑な運営に努めています。

財源確保のため社協会員を募集し、32件（法人等3団体、個人29名）の方々にご賛同いただきました。（245,000円）

2. 地域福祉事業サービス区分

（1）日赤募金事業

赤十字奉仕団への支援のほか、各種団体等の行事開催にあたり、日赤奈良県支部に対して付添看護師や講師の派遣要請を行いました（付添看護師1件、講師派遣1件）。

また、住宅火災に際して、火災見舞金、布団や毛布・日用品をお届けしております（令和4年度は実績なし）。

（2）生活福祉資金貸付事業

県社協が実施主体となって行う事業で、貸付の手続き、助言等を行っています。28件の相談があり、2件の貸付がありました。

加えて、新型コロナウイルス感染症の影響で、収入が減った世帯を対象に、特例貸付の手続きを行いました。相談件数は32件で、緊急小口資金13件、総合支援資金17件の貸付手続きを行いました。

また、県社協のフードレスキュー（食料支援）を10件実施しました。

（3）基金預託事業

皆さまの温かいご理解をいただき、6件、381,400円のご寄付をいただきました（満中陰志等）。

（4）給食サービス

ボランティアコスモス会、婦人会の協力により、季節にちなんだ手作り弁当を作っただき、民生委員・児童委員協議会の方々により、地域のひとり暮らし高齢者宅へ毎月2回（12月は1回）、昼食の配食とともに安否確認をしていただきました（年間1,922食 令和5年3月2回目の配食数は、90食）。

(5) 福祉用具、車いす対応福祉車両貸出事業（無償）

長期臥床にある高齢者等を対象に、延べベッド7台、車いす71台（ワクチン接種含む）の貸出を行いました。

また、車いすを使用しての通院等を支援するため、車いすに乗ったまま乗降できる福祉車両の貸出を行いました（18件）。

(6) 日常生活自立支援事業

奈良県社会福祉協議会（県社協）が実施主体となって行う事業で、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス利用援助における援助・助言、必要な手続きの援助、日常的な金銭の管理等を行う事業です（令和4年度末現在、利用者9名）。

(7) ボランティアセンター業務

地域福祉の推進に大きな役割をもつ、ボランティアの自発的・積極的な活動を支援しています。

令和4年度末現在、社協登録ボランティアとして、個人11名、団体として41団体（1,164名）に登録いただいております。

社協ホームページでボランティア団体の活動内容を掲載し、またボランティア紹介チラシを公共施設に配置するなど情報発信をしています。

【10月】「北葛城郡災害ボランティアセンター運営・設置訓練」を実施。

北葛城郡4町（上牧町、王寺町、河合町、広陵町）社会福祉協議会ほか多くの方々にご協力いただき実施しました（75名参加）。

【1月】「登録ボランティア交流会」を開催（38名参加）。

事前に提出いただいた活動内容をまとめた冊子をお渡ししました。

ボランティア養成講座は、新型コロナウイルス感染症予防のため実施しませんでした。

(8) フードレスキュー（町独自）

フードバンク奈良、大和高田ロータリークラブ及びJAならけん女性部並びにリレーセンターなどの協力のもと、生活に困窮された世帯に町独自のフードレスキュー（155件）を実施しました。

(9) 新型コロナウイルス感染症の影響による支援資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響で生活が困窮された世帯対象に1世帯あたり200,000円を限度とした貸付事業を実施しております。5世帯に貸付を行いました（100万円）。

(10) 移動支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しておりません。

(11) 災害発生時への備え

災害に備えて、蓄電池や投光器などの災害用備品を購入しました（548,619円）。

9月に一般社団法人葛城青年会議所と「災害時における協力体制に関する協定」を締結。3月には、4町（上牧町、王寺町、河合町、広陵町）社会福祉協議会で、「北葛城郡内社会福祉協議会災害時相互支援協定」を締結しました。

3. 町受託事業サービス区分

(1) 手話奉仕員養成講座

基礎編（全25回・5名修了）を開催いたしました。

(2) 意思疎通支援事業

通院等で手話通訳が必要な方に手話通訳者の派遣を行いました（181件）。

(3) 老人福祉センター事業

町からの受託事業として、さわやかホール3階の老人福祉センター（利用者数20,118人）とグリーンドーム（利用者数585人）の管理運営業務を行いました。

(4) 会館管理事業（さわやかホール）

町からの受託事業として、さわやかホール（利用者数12,064人）の会館管理業務を行いました。

(5) 生活支援体制整備事業

住民の皆さんが住み慣れた地域で元気でいきいきと心豊かに暮らし続けられるよう、住民の皆さん、行政、社協との共同で、生活支援など支え合うなかまづくり、地域づくりを目指しています。

【4月】「広陵ささえ愛（協議体）通信」第5号発行

【8月】第6回広陵ささえ愛勉強会開催
オンライン研修

「地域のお宝発表会～暮らしの中の小さなつながり大発見～」

【1月】第7回広陵ささえ愛勉強会開催

「支え合える地域づくり住民ディスカッション」

(6) 福祉団体活動支援事業

手をつなぐ育成会の支援業務と、遺族会、老人クラブ連合会、民生委員・児童委員協議会の一部事務を担当しています。

（身体障がい者交友会、母子寡婦福祉会は、活動休止中）

(7) 新型コロナウイルス感染症対策生活支援等業務

町からの受託事業で、新型コロナウイルス感染症による感染者及び同居者を支援するため、344世帯（368個）にサポートパック（食料品等）をお届けしました（9月末終了）。

また、買い物及び医薬品受け取りの代行を行いました（30件）。

4. 共同募金事業サービス区分

(1) 「ふれあい・いきいきサロン」の推進

地域住民が自主的に運営し、高齢者、障がい者、子育て中の親子などが地域で孤立することなく、地域住民との交流や仲間づくり、社会参加ができる場である「ふれあい・いきいきサロン」の運営を支援するため、設立助成や活動費の助成を行っています。

令和4年度末現在、29地区で運営されています。

(2) ひとり親家庭 親子ふれあい交流事業

新型コロナウイルス感染症予防のため、実施しませんでした。

(3) 地域福祉委員活動の推進

小地域における福祉の問題や要望を発見し、民生委員と連携しながら地域住民とともに「福祉のまちづくり」を進めていく推進役として9地区21名の地域福祉委員を設置しています。

(4) 広陵町共同募金委員会助成事業

共同募金配分金を財源として、社協登録ボランティア団体を対象に、助成事業を実施しました。結果、4団体の応募があり、総額179,990円を交付しました。

(5) 歳末慰問事業の実施

歳末慰問事業として、生活保護世帯（101世帯）に1世帯あたりお米2kgと味付けのり、インスタント味噌汁のセットと、要保護児童世帯及び準要保護児童世帯（143世帯）に図書カードを贈りました。

(6) 歳末社協イベント

広陵町民生委員・児童委員協議会やボランティアにご協力いただき、「社協もちつき大会」を3年ぶりに実施し、町内の親子69名が参加されました。

また、大和高田ロータリークラブから、お菓子の詰め合わせをいただき、参加された子どもさんにお渡ししました。

5. 福祉資金貸付事業サービス区分

低所得の方に対する一時的な生活資金として、12か月以内の返済を条件に、5万円を上限として無利子での貸付を行いました（15件）。